

令和 5 年度 第 3 回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録

■日 時:令和 6 年 1 月 9 日(火)18時 00分～
■会 場:オンライン(Zoom)

1. 報 告 事 項

(1) 業務報告(令和 5 年 9 月～12 月)について【資料 1、2、3】

【委員 長】田無高校避難所運営ゲームの内容について委員から説明をお願いしたい。

【委 員】300 人以上の生徒が体育館に集まり、避難所を想定し HUG(避難所運営ゲーム)を行った。教員も生徒も避難所がどんなところかイメージができない人が多かった。ボランティアで参加し 1 班 7 名ほどのグループを 6 つ担当しアドバイスなどをした。次の機会があれば生徒もさらに知識も増えて経験を積んでいけば、西東京市で被災した場合、協力してもらえれば高校生は大きな力になる。これからも広げていければ良いと考える。

【委員 長】テレビでも報道されているが、若い力が必要とされている。ボラセンを中心として各学校でおこなわれると良い。

【委 員】10月29日に文理台公園で市の総合防災訓練が行われた。レスキューバードは防災についての展示を行った。隣のブースが社会福祉協議会でトイレの凝固剤の実演をやっていた。被災地ではトイレの問題が出ているので良いアピールになったのではないかと。

【事 務 局】ボランティアコーディネートの実績9月～12月はイベントの依頼が増えている。昨年との違いは高齢者施設のイベントで受け入れが広がってきた。

(2) 業務予定(令和 6 年 1 月・2 月)について【資料4】

【委員 長】傾聴ボランティア養成講習会の申し込みが盛況だが何か要因があるのか。

【事 務 局】しばらく行っていなかったということ、また傾聴に対するニーズが非常に多く出ている。その結果、興味関心を持たれる方が多いのではないかと。

傾聴ボランティア養成講習会は人気のある講習であるため毎回抽選を行っている。

【委 員】傾聴ボランティアの講座は他の区市町村でも人気の講座だと聞いている。その中で、受講後に活動につながらず、受講しただけで終わってしまっていると他の地域から聞いたことがある。受講後に具体的な活動を紹介するなど決まっているのか。

【事 務 局】傾聴ボランティアグループの連絡会と話し合っている。今までは毎回受講生が新しいグループを作ってきたが、既存のグループに入って活動して欲しいと考えている。

(3) 「軒下ふれあいバザーについて」について【資料5】

【委員 長】どの団体でも参加できるのか。

【事 務 局】マックスバリュ(イオングループ)が「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」という地域のボランティア団体を応援する取り組みを行っている。精算時に受け取った黄色いレシートを、応援したい団体名が書かれた BOX に入れるとお買い上げ金額の1%の品物が団体に寄付される。当初はそこにのっている団体であったが現在はあまりこだわらず、地域でつながりのある団体に声をかけている。スペースが限られているので公募はしていない。

○事務局より、(1)～(3)について資料を用い説明を行った。

2. 審 議 事 項

(1) 令和5年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿)について【資料6】

3. 協 議 事 項

(1) 令和6年度予算・事業計画について【資料なし】

【事 務 局】第2回運営委員会で提示したものを西東京市に提出している。回答が出た後に作成する。

(2) 西東京ボラセンの役割とめざすこと(継続検討事項)【資料7】

【事 務 局】ボランティアセンターは長年にわたり、ボランティア活動を用いて地域を良くするために取り組んできたが数年前に担当職員の減少によりコーディネーター1名、兼務の職員1名の体制となった。少人数となったが中間支援組織の役割は果たしていかなければならない。当初、地域に根付いたボラセンになるためにはどのようにしたら良いかと考えた時、ボランティアを必要とする多くの団体や行政の期待に応えていくとあげていた。現在、災害や子ども食堂、環境などのテーマに特化した組織がいくつかあり、ボラセンは必要ないと言われてしまう危機感がある。そうならないためにはボラセンを知ってもらい地域の資源として役立ててもらえるようにと始めたものである。【資料7】参照。意見をいただきたい。

【理 事】2名体制は厳しい。やれることも限られてしまうのではないかと。本来ならイベントを行ったり学校との連携だったり、裾野を広げていくことができるはずである。ボランティアセンターを盛り上げるため、ボランティアや市民団体と共に行うことにより相乗効果があって良いのではないかと。

【委 員 長】今後、市民や団体と共に取り組むのではないかと。災害に関しては西東京レスキューバードなどの力を借りながらボラセンに期待しているところは大きい。ニーズの把握については、ほっとネットやりんく、ふれまち、ゆめこらぼなどと共有できれば良いのではないかと。

【委 員】小学校では子どもの見守りのボランティアに来てもらった。過去にもボランティアを紹介してもらい感謝している。ボランティアの紹介数が多いことを盛り上がりとする見方もあるが、その反面、誰かのためにボランティアをすることに生きがいを感じている人もいる。生きがいを支援するという逆の見方もあるのではないかと。つないだ数にとらわれるのではなく、誰かのために役に立ちたいと考える人の気持ちに寄り添っていくことも必要ではないかと。

【委 員 長】生きがいという視点で考えていくと更に広がっていくと考えられる。

【事 務 局】今まであまりなかった視点なのでやっていければ良いと思う。

【委 員 長】ほっとネット、りんく、ふれまち、ゆめこらぼとの情報共有や連携についてはどうか。

【事 務 局】ほっとネットやりんくは委託事業であるため情報共有が容易ではない。また、ほっとネットは事務局が離れているため物理的に連携がとりづらい。

【委 員 長】そこを乗り越えていかなければ実現できないのではないかと。今後も考えていかななくてはならない。学校との連携ではもっと増やしていったら欲しい。

【事 務 局】学校との連携は非常にありがたい。総合学習での関わりはあるがピンポイントの依頼になっている。

【副委員長】大学生も地域活動に興味を持っているが地域に出るとなるとハードルが高い。面識もなく世代も異なる人たちの活動に自分が参加する第一歩を踏み出す勇気がない。学校はもちろん、社協が橋渡しをして方向性を示してもらえると学生も地域に出やすくなる。もう一点、様々な市民活動団体があるが、それぞれが手を伸ばし、つながれば相乗効果で新しい価値が生み出されるのではないかと。社協が各団体の強みを俯瞰して見ることで、新たなテーマをコラボレーションして新しい価値が見出せるのではないかと。新しい団体を増やすのではなく、既存の団体の中から新しい価値を生み出すきっかけを提案できると可能性が広がるのではないかと。

【委 員】高齢者施設ではボラセンに依頼をしているのでありがたいと感じている。個人的にもボランティア活動を紹介してもらい初めてのボランティアで良い経験になった。若い人はネットなどでボランティアを検索

していると思う。検索のしやすさや活動の様子が分かる写真や体験者の感想などがあると壁を乗り越えやすくなるのではないかな。自分が体験して良かったことを伝える手段があると良い。エピソードックボランティア（短期間で完結する活動）は始めやすくて良い。

【委員長】SNSを活用して目で見てわかる内容、体験者の感動を発信していくことも大事である。

【委員】【資料7】4つのテーマ全てにほっとネット、りんく、ふれまち、ゆめこらぼとの連携が必要となってくる。今のボラセンの少ない人数の中で連携を取りながらやっていくのは相当厳しいのではないかな。例えば、ボラセンとは地域のニーズを把握してボランティア募集を行い調整していくという端的な役割を言える組織とし、その後に地域資源の活用やボランティアのスキルアップに広げていけると良い。テーマを絞っても良いのではないかな。

【事務局】テーマを絞り重点的に行うことはあっても良いと改めて感じた。

【委員長】ボラセン担当の人員を増やすことは出来ないのか。

【事務局】他事業との兼務になっている。他部署との連携で工夫しながら行っていく。頂いた意見をもとに検討していきたい。

【委員長】連携とあるが一つ一つ細かく課題を出していくことも大事ではないかな。いろんな視点から委員の意見も出てきたので継続して協議していきたい。

【委員】ボランティアセンターの強みを考えることが大事である。西東京市はボランティアの個人登録を行っているが、登録ボランティアの方に活動先を紹介して終わるのではなく、どのように一緒にやっていくか関係づくりも大切ではないかな。スキルアップ講座については開催の頻度を上げるのが難しい場合は、近隣市のボランティアセンターと一緒にあったり、東京ボランティアセンターを頼るのも良い。連携については何をどうするかを具体的に進めていくのが良い。

4. そ の 他

(1) 次回 運営委員会日程について

■日時： 3 月 12 日（ 火 ） 18:00～

■会場：Zoom

(2) そ の 他

【委員】2月9日、10日、11日「ボランタリーフォーラム」開催。ボランティアに関すること、社会課題、地域に関することなどを扱う分科会がある。

【委員】2月4日エコプラザで「防災サミット」開催。

配布資料

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（令和 5 年 9 月～12 月）

資料 2：ボランティアコーディネート状況月次報告（令和 5 年 9～12 月）

資料 3：ボランティアコーディネート実績表

資料 4：西東京ボランティア・市民活動センター事業業務予定（令和 6 年 1 月・2 月）

資料 5：軒下ふれあいバザーについて 報告

資料 6：令和 5 年度第 2 回運営委員会要点記録（未定稿）

資料 7：西東京ボラセンの役割とめざすこと（継続検討事項）

参考：ぼらんていあ倶楽部第 124 号（令和 5 年 11 月 15 日発行）